



平成30年11月15日 第815号

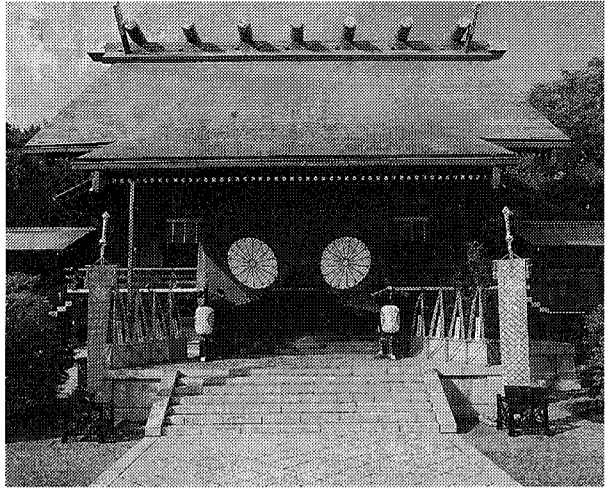
一般財団法人日本遺族会 千代田区千代田一丁目六番三階 電話 03-3261-5521 00160-6-25389 編集 毎月1回15日発行 定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社 秋季例大祭を斎行 安倍総理が大真櫛を奉納

東京・靖国神社では、十月十七日から二十日までの四日間、わたり秋季例大祭が斎行された。十八日の当日祭には、天皇陛下から勅使が差し遣わされ御幣帛が奉納された。また、午前八時には「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の尾辻秀久会長(本会名誉顧問)、水落敏栄事務局長(本会会長)ら百四十六人が揃って参拝した。

靖国神社秋季例大祭は、十月十七日の「清祓」で始まり、翌十八日には「当日祭」が斎行され、全国から戦没者遺族をはじめ崇敬者、各界の代表など約五百人が参列して厳粛に執り行われた。十八日午前十時、坂明夫権宮司以下の神職が本殿に進み、國學院大學吹奏楽部が「山の幸」を演奏するなか、神饌を献じ、坂権宮司が祝詞を奏上した。十時三十分には、天皇陛下より遣わされた勅使・羽倉信夫掌典が参進して昇殿。神前に天皇陛下よりの御幣帛を奉って御祭文を奏上し、玉串を奉奠して拝礼した。



本殿正面の左右に奉納された大真櫛 =10月18日、靖国神社で

勅使退下後には、國學院大學フオイエールコール混声合唱団が「鎮魂頌」を奉唱した。「靖国神社の歌」を奏唱した。坂権宮司に続き、宇田川勲雄本会副会長はじめ、英霊にこたえる会、神社本庁、靖国神社崇敬奉賛会の代表など特別参列者が本殿に進み玉串拝礼を行った。

祭典終了にあたり坂権宮司が挨拶し、まず一部週刊誌が報じた小堀宮司の発言について説明し、陳謝した。その上で、来年創立百五十周年の節目を迎えるにあたり「職員一同、改めて御祭神にお寄せいただく大御心を拝し、ご遺族、崇敬者のお心を大切にいたし、英霊祭祀の厳修のもと、百五十年記念事業の完遂、靖国神社悠久の「安泰に努める覚悟」と語った。

超党派の議員連盟「みんなで参拝 靖国神社秋季例大祭に 超党派国会議員146人が参拝」



尾辻会長を先頭に本殿へと向かう「みんなで参拝する国会議員の会」=10月18日、靖国神社で

超党派の議員連盟「みんなで参拝 靖国神社秋季例大祭に 超党派国会議員146人が参拝」

に靈魂奉安祭を斎行し、新たに五柱を合祀した。また、大祭に合わせ、安倍晋三内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、伊達忠一参議院議長、根本匠厚生労働大臣が「大真櫛」を奉納した。安倍総理は平成二十五年の春季

例大祭から毎年、春秋の例大祭に大真櫛を奉納している。

本会関係者 栄えある受章 秋の叙勲

政府は平成三十年秋の叙勲及び褒章受章者を発表した。栄えある受章に輝いた本会関係者は次の方々である。

旭日桐花大受章 齋藤十朗氏(78歳) 日本遺族会元理事、三重県遺族会名誉顧問

山口建史(やまぐちたけふみ)氏 昭和二十三年六月二十日生まれ。昭和四十七年三月皇學館大学文学部国史学科卒業。熱田神宮奉職。神社本庁教学部、山口県神社

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

東京・千代田区の靖国神社では、小堀邦夫宮司の退任に伴い、十一月一日付で山口建史氏が第十三代宮司に就任された。

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

旭日単光章 山岸由紀子氏(78歳) 石川県遺族連合会女性部長

加藤清氏(88歳) 日本遺族会元理事、和歌山県遺族連合会元会長

鈴木登氏(85歳) 日本遺族会元評議員、千葉県遺族会副会長

山口建史氏が就任 靖国神社宮司に

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

英霊にこたえる会 靖国カレンダー業務室

靖国カレンダーを 家庭にかかげましょう

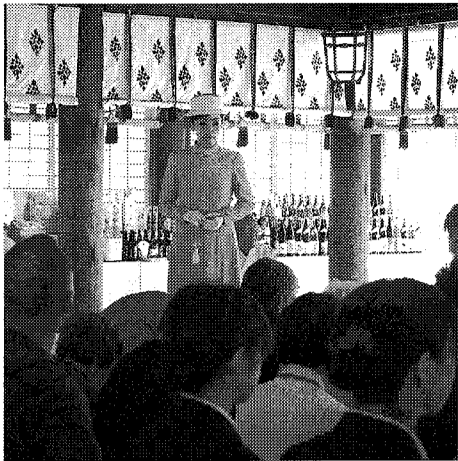
平成三十一年版 靖国カレンダーを 家庭にかかげましょう

深秋の候... さに夜寒の身に しむ季節となつてきた。ここに 来て冷気が一気に 加速、紅葉狩りの話題 や映像が目を楽しませて くれる。そんな中11月に 入り「平成あと半年」と いう文字が目飛びこんで きた。天皇陛下の退位 まであと半年。新天皇の 即位に伴い来年5月から 新しい元号が変わる。例 年元号が併記されていた カレンダーや手帳は西暦 だけの表記が中心となっ ている。少し淋しいよ うな気がする所でもあ る。「明るい文字が入っ ているといいな」と次の 元号を心待ちにする声 も聞こえてくる。新 元号は来年4月1日前後 に公表される見通しであ る。昭和の時代：ラスト エンペラーといわれた清 朝最後の皇帝・愛新覚羅 溥儀の実弟、溥儀に嫁い だ嵯峨浩が、結婚を前に 不安や覚悟を記した書簡 が杉並区立郷土博物館で 初公開されている。浩は 侯爵家の生まれ。仲むつ まじい結婚生活は満州国 崩壊で夫婦生き別れとな り、16年後の再会まで「流 転の王妃」としても知ら れる。友人に宛てた書簡 には揺れ動く心情が吐露 されているという。結婚 式は軍人会館(現九段会 館)で厳かに執り行われ ているが、披露宴会場と なった「真珠の間」や「二 六事件の戒厳司令部」が おかれた「鳳凰の間」は 残される。昭和、平成、 そして新しい時代へと歴 史は引き継がれる。(A)

好問友訪 慰親善霊

亡き父たちを弔う 三地域を相次いで実施

日本遺族会は、厚生労働省の補助事業である「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」のボルネオ・マレー半島、マリアナ諸島、トラック・パラオ諸島地域を実施した。三地域に総勢三十九人の遺児が参加した。また、靖国神社秋季例大祭中の十月二十日にはトラック・パラオ諸島訪問団参拝に際し三笠宮瑤子女王殿下ご参拝後ご会釈を賜った。



トラック・パラオ諸島訪問団参拝に際し三笠宮瑤子女王殿下よりご会釈を賜る
=10月20日、靖国神社で

ボルネオ・マレー半島
安齋清本会評議員(福島県遺族会会長)を団長とする北ボルネオ・マレー半島慰霊友好親善訪問団は、九月二十六日全

國の遺児代表六人が東京の靖国会館で結団式を行い翌二十七日、彼の地で慰霊のためマレーシアの首都クアラルンプールに

第一步を押し、翌日ボルネオ島に渡り、それぞれ縁の地へ向かった。ボルネオ島では、コタキナバルの南百三十五キロのボーフォート西方海岸付近に位置するカルカラン村を訪れ、村の古老に当時縁のある場所に案内され慰霊祭を行いご英霊を弔った。さらに、標高二千メートル程の山々が連なるクロック山脈を越えメララップへ。現地住人に聞き込みをし、当時野戦病院があったメララップ小学校周辺のカシアイ地区の河原で慰霊祭

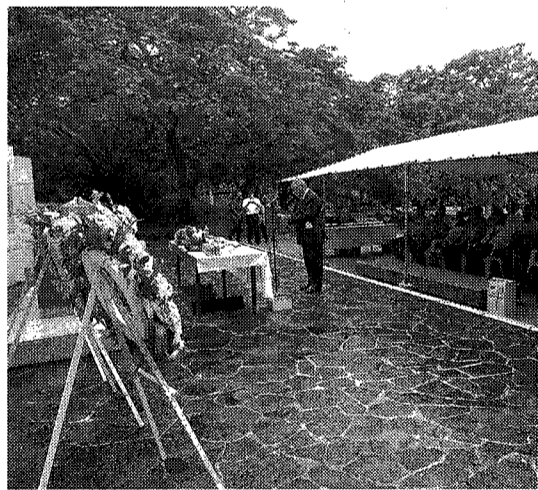


日本語を学ぶサバの中・高校生徒らと談笑する団員ら
=10月1日、コタキナバルで

マリアナ諸島

田原政信本会理事を総括団長とするマリアナ諸島慰霊友好親善訪問団は、十月十日、全国の遺児代表二十一人が靖国会館に集合し結団式を行い、靖国神社にて昇殿参拝後前泊の成田へ移動。翌十一日亡き父の眠るマリアナ諸島に向け、二班に分かれて出発。

A班一行はグアム島の又木山、サイパン島のタッポーチヨ山、西海岸(パウパウィーチ)、サイパン神社を巡り、B班一行はサイパン島のサイパン神社、地獄谷、タッポーチヨ山、テニアン島のカロリナス、タガハウスパークを巡りそれぞれ慰霊祭を執り行い、亡き父に積年の思いを語りかけ、共に散華された英霊の冥福を祈った。



「中部太平洋戦没者の碑」前で全戦没者追悼式を挙行=10月15日、サイパンで

七都府県の遺児代表十二人が東京・千代田会館に集合し結団式を行い、靖国神社で旅の安全を祈願し昇殿参拝を行った。靖国神社では秋季例大祭最終日であり、訪問団は参拝に際し、三笠宮瑤子女王殿下ご参拝後、ご会釈を賜った。翌日グアムで一泊し、二十二日ミクロネシアのチュニク(春島)に到着。午後、病院に車椅子を寄贈し、州政府を表敬訪問後、島内で個人慰霊祭を行い、亡き父の冥福を祈った。

二十三日はトラック環礁内北西方面を望み洋上で日本酒等を手向け亡き父の冥福を祈る団員ら
=10月23日、トラック環礁内

慰霊友好親善事業 参加者募集

募集要項は次のとおり
▼時期及び地域 実施概要参照。
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配となる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手

参加者募集

数料等は個人負担とする。
▼参加資格 戦没者の遺児。平成二十九年参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。
参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。
また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるため、予めご了承願いたい。
※参加者も高齢化を考慮し、今年度より看護師が同行する。

実施概要

(広域地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
3 フィリピン(2次)	平成31年 3月13日~3月20日	120人	1月11日
2 中国	平成31年 3月22日~3月30日	80人	1月22日

(特定地域)

1 西部ニューギニア	平成31年 2月4日~2月13日	36人	12月4日
2 東部ニューギニア	平成31年 2月13日~2月20日	36人	12月13日
3 ミャンマー	平成31年 2月26日~3月6日	36人	12月21日

本会への 賛助金のお礼

賛助金のお願い

本紙(二面)でもお願

いしている本会への賛助金につきましては、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。
なお、大変恐縮ではございますが都道府県名については、送金方法によ



日本酒等を手向け亡き父の冥福を祈る団員ら
=10月23日、トラック環礁内

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針に基づきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

ヤマミツオ、ゴトウタケヨシ(以上、九月一日から九月末日まで) 皆様からいただきました賛助金は、本会が実施いたしました。誠にありがとうございます。

する各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

巡回特別企画展を開催 群馬県で九〇六九人が来場

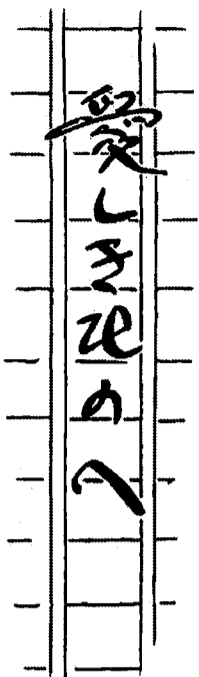
昭和館が毎年実施している巡回特別企画展「戦中・戦後のくらし 群馬展」が、十月十二日から二十三日まで前橋市の前橋プラザ元氣21にぎわいホールで開催された。会期中、十六日・十七日には群馬県護国神社の例大祭に参列した遺族が多数来場したほか、新聞等でも取り上げられ、九千人を超える入場者で賑わいをみせた。

昭和館では、平成三十一年から巡回特別企画展を開催している。三十三回の企画展では、群馬県に係する資料約一九〇点を含む、約三〇〇点の資料を展示した。

出発に際し

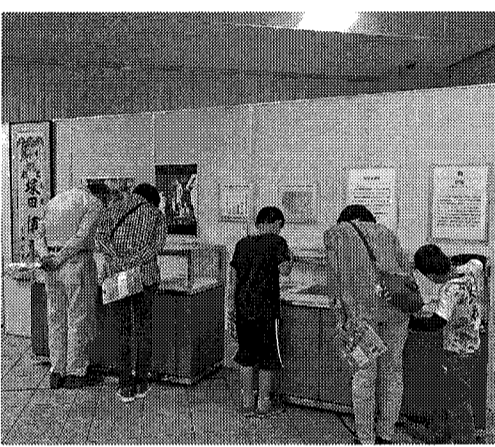
陸軍少佐 松本 清司

昭和十九年十一月十五日
ファイリピン、レイテ島にて戦死
東京都日本橋区江戸橋出身 三十二歳



出発に際し一筆書き遺書、今般出征の大命に接し、誠に武人の本懐、男子の榮譽と存じ候。御身、今日の事あるは結婚当日より十分に覚悟に候へば、さして驚かる事もこれ無かるべしと存じ候。
(中略)
我亡き後、母および子を慰む御身の御苦勞の程、十分に御察し申し上げ候も、遺族として国民の尊信、ご集まるに至るべく、その点十分に御自覚の上、遺族の甘さに馴るる事なく、謙讓の美德を發揮して世人の恩に報ゆる様、老婆心ながらお願い申し上げます。
(中略)
以上、種々申し述べ候も、今出征するに際し、十分に御身を信託致し居り候へば、何ら心残り等これ有るものに非ず。意を安んじて征途に上り得るを深く感謝いたすものに候。宜しく健康に留意してお暮し下さる様、尚くくれ茂雄の教育をお願い申し上げます。
十一月二十二日 夜 書く

【平成三十年十一月靖国神社頭掲示】
愛しき母へ
(原文のまま)



展示資料を熱心に見学する来場者=前橋市で

る貴重な資料が展示され、群馬県内各地で学童

集団疎開を受け入れていた様子を伝える写真や実物資料とあわせ、東吾妻町の大運寺に疎開していた学童の様子を映像も公開され、戦中・戦後の群馬県にゆかりのある資料が来場者の注目を集めていた。

また、県内に住む遺族が参加した遺骨収集や慰霊友好親善などの活動の紹介や、終戦直後の前橋市内の焼け跡で生活する

九段短歌

選者 安元 百合子

散り逝きし特攻兵の声哀し録画の像にしばし声出つ
富士吉田市 蒼沼 勝由

極寒の旧ノ連より今還る千鳥ヶ淵に熱き百日紅
東京都 木村百合子

菩提寺の戦争記録読み返し孫らと語りふ命の重さ
南相馬市 柴田 征子

曾祖母が在るのに曾祖父なせいな問いし孫たち曾祖父を超ゆ
南相馬市 原 芳広

夏椿終戦の日の庭に咲く戦死せし父と語りたき朝
甲州市 数野 星子



亡き父に親子で語りかける=10月25日、伊江島「芳魂之塔」で

人々の様子を撮影した映像や、昨年撮影された、県内在住の遺族の方々の

戦中から戦後にかけての労苦を語る証言映像も会場で上映された。

また、県内に住む遺族が参加した遺骨収集や慰霊友好親善などの活動の紹介や、終戦直後の前橋市内の焼け跡で生活する

おぼろなる憶ひ出ひとつ自転車の父のそびらに三歳のわれ
一宮市 高橋 園子

国破れ終戦直後の苦さはひと粒たりとて残すものか
佐世保市 田中 暁

は 栗飯炊くたび思ういくさ場の父への陰膳祖母の香
青森県 田中 恭子

「特攻兵の声哀し」特別攻撃隊の発案者と言われる大西滝次郎中将は「特攻などという作戦は外道である」と喝破。戦後、割腹自殺されました。

二首目はハバロフスク地方二次遺骨収集派遣団による遺骨引渡式が九月十二日に千鳥ヶ淵戦没者墓苑であり参列されたの詠。酷寒のシベリアと百日紅の対象が印象的。ソビエト連邦は大戦終結後、約六十万人の日本人をシベリアに抑留、酷寒の地で重労働を強制しました。現在、厚労省が抑留死の方の名簿整理を続け、十月にも新たに二十二人が特定されました。

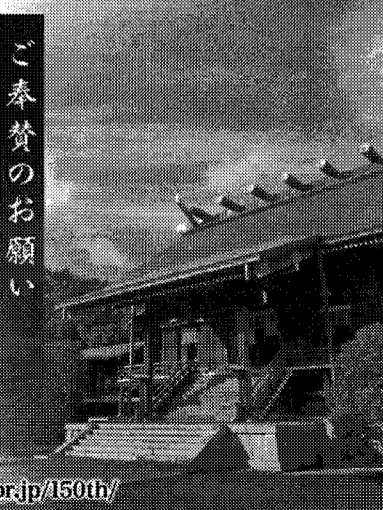
地方だより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。

新潟県 10月2日
第67回新潟県戦没者慰霊遺族大会(720人)

和歌山県 10月5日
第45回和歌山県戦没者遺族大会(530人)

靖国神社御創立 百五十年記念事業



靖国神社では、平成三十一年に御創立百五十年の節目の年を迎えるにあたり、現在、次の三つの事業を計画し、実施いたしております。

- 一、本殿・拝殿・霊燈薄奉安殿関連工事
(冷暖房の設置・エレベーターによるバリアフリー化・霊燈薄奉安殿修繕など)
- 二、靖国会館内装改修・休憩所設置工事
- 三、外苑整備工事

つきましては、ご遺族・崇敬者各位をはじめ幅広い国民の皆様方のご賛同をいただき、この記念事業へご賛助くださいますようお願い申し上げます。

●記念事業にご奉賛金
一口金五、〇〇〇円(何口でも可)
※年会費を含めることもできます。

●記念事業総経費：二十億円
○神社提出金：十億円
○募金目標：十億円
○募金期間：平成三十一年十二月末

靖国神社 崇敬奉賛会事務局
〒102-8246 東京都千代田区九段北三-1-1
電話 03(3261)8143(直通)
受付時間：平日午前9時～午後5時